



令和8年(2026年)7月17日  
豊中市立桜井谷小学校  
学校だより No.7  
校長 渡部 潤也

1学期、ありがとうございました！



保護者の皆さま、1学期の間、本校のさまざまな教育活動へのご理解・ご協力、本当にありがとうございました！

本日の終業式では、次のような話をしました。

みなさんは、4月の自分と今の自分を比べて、何か「できるようになったこと」はあるでしょうか。勉強でできるようになったこと。運動でできるようになったこと。友だちに優しく声をかけられるようになったこと。朝、自分からあいさつができるようになったこと。最後まであきらめずにねばり強くがんばれるようになったこと。きっと、たくさんの「できるようになった」があると思います。

校長先生は、この1学期、みなさんのたくさんの成長を見てきました。1年生は学校生活に慣れ、お話を聞く態度もとてもよくなり、自分でできることがどんどん増えてきました。2年生以上のおみなさんも、困っている人に声をかけたり、係活動や委員会活動でみんなのために働いたりする姿をたくさん見ました。教室でも運動場でも「チャレンジ」する姿、人と「つながる」姿をたくさん見ることができ、うれしく思いました。

でも、本当の成長は、うまくいった時だけではありません。失敗したこと、間違えたりできなくて悔しかったこと、それでも何度も挑戦した人は、大きく成長しています。挑戦したからこそ、次にできるようになるのです。

さて、明日からは夏休みです。夏休みは、新しく「できるようになった」を増やすチャンスです。本を読むことでも、家のお手伝いでも、早起きでも、運動でも、苦手なことへの挑戦でも、得意なことを伸ばすことでも、何でもいいです。自分の夢や目標に向かって、「これができるようになったよ」と言えることを、1つでも増やして

ください。

また、何よりも大切なことは、自分の命を守ることです。交通事故や水の事故、熱中症などには十分気をつけて、元気に過ごしてください。

2学期、夢に向かって一歩進んだ、元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

この話の後に、さくら君が登場。

さくら君のダンスに盛り上がりながら、みんなで歌を歌いました。歌ったのは、WANIMAの「やってみよう」という曲です。

この歌は、「失敗を恐れずにまず一歩ふみ出してみよう」という前向きなメッセージが込められた曲です。



うまくいくかどうかよりも、「やってみること自体に価値がある」という姿勢を応援してくれます。

新しいことに挑戦する気持ち、自分を信じて進んでみる勇氣、そしてチャレンジすることで世界が広がる楽しさを歌っています。

日々の生活の中で、「まずはやってみよう」という気持ちを大切にしてほしいと思います。

「社会を明るくする運動」の作文で、5年生の児童が優秀作品に選ばれました。題名は『思いやりは行動から』です。

この作文には、学期末にたくさんの荷物を持って下校していた時、旗当番の方が声をかけてくださり、さらに自転車で荷物を運ぶ手助けをしてくださった体験が書かれています。その時のうれしさや感謝の気持ちから、『困っている人に気づいたら、勇氣を出して声をかけ、必要な時には行動できる人になりたい』という思いがつつられています。

思いやりは、心の中で思うだけでなく、実際の行動として表れることが大切です。この作文から、人を大切にする温かな心と、それを行動につなげようとする決意が伝わりました。私たちも、身近な人への声かけや親切な行動を大切にしていきたいと思います。